

市議会だより

おおだ

No. 48

2017(平成29)年7月20日発行



6月定例会 6月9日~23日

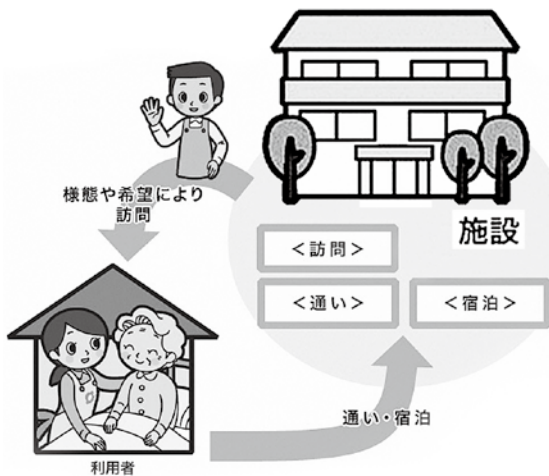
- 地域に根ざした施策に配分 補正予算 …… P2
- さまざまな角度から8人が市政を問う …… P6
- 議会報告会を開催しました …… P13

今持ちこたひいよー
楽しいいよー

水遊びを楽しむ大田幼稚園児

6月定例議会は一般会計、特別会計の平成29年度補正予算のほか、条例の制定等について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

に根ざした施策に配分



地域密着型サービス拠点整備補助
小規模多機能型
居宅介護事業所整備(長久町)

3,758万円



就学援助事業(小中学校)
(国の要保護児童生徒援助費単価
新入学児童生徒学用品費等の見直し等)

124万円

【不採択】

年金の毎月支給を求める意見書採択方

(請願)民生委員会所管

(請願者)全日本年金者組合島根県本部大田支部 支部長 福田隆昌

(内容)年金の隔月支給を、国際水準並みに毎月支給に改めること。



6月

定例市議会

平成29年6月9日(金)～6月23日(金)

平成29年度補正予算案など 原案どおり可決

介護、教育支援を中心に 地域

主な補正内容



コミュニティ助成事業(宝くじ助成)
浮布広場環境整備等
(池田地区まちづくり推進協議会)

190万円



コミュニティ助成事業(宝くじ助成)
幼年消防用鼓笛隊セットの整備
(あゆみ保育園幼年消防クラブ)

40万円

みなさんからの請願

【 継続審査 】

北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める意見書提出方

(請願) 総務教育委員会所管

(請願者) 安保関連法(戦争法)の廃止を求めるしまね総がかり行動実行委員会 代表者 井上寛司

(内容) 国に対し「北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める意見書」を提出すること。

議員提出議案

- ▼森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書の提出について「原案可決」
- ▼地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について「原案可決」
- ▼「共謀罪」と同趣旨の「改正組織犯罪処罰法」の拙速な法施行を行わないことを求める決議について「原案否決」

森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書

森林は国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止などの公益的機能を有しており、また、木材の供給を通じて地域産業の活性化と雇用創出に寄与しています。

しかしながら、所有者・境界が不明確な森林の増加や担い手不足、長期にわたる木材価格の低迷等により、森林の荒廃が深刻な状況です。

地方においては、国の森林整備事業に加え、地方単独事業等を創設し、森林整備対策、林業・木材産業対策を実施しているところですが、長期的な視点に立った安定的な財源が十分に確保されているとはいえないのが現状です。

ついては、森林環境税(仮称)の創設により、長期的かつ安定的な財源が確保されるよう下記事項の実施について強く要望いたします。

記

1. 地方が行う森林整備の長期的、安定的な財源の確保のため、平成30年度税制改正において「森林環境税(仮称)」を創設すること。
 2. 税収は、私有林面積に応じて配分し、県及び市町村がしっかり連携しながら、自由度をもった対策が実施できるような制度とすること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月23日

全員協議会の議題

「議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます。」

5月12日

・議会報告会

6月9日

・大田市使用料及び手数料の見直しに関する基本方針

・後期高齢者医療保険料及び国民健康保険料の軽減判定誤りに伴う保険料の誤算定

6月16日

・平成30年度大田市重点要望
・学校給食への異物混入
・琴ヶ浜の国指定天然記念物の指定



▲国の天然記念物に指定予定の琴ヶ浜

いっぱん質問



市政に対する一般質問は、6月14日、15日に行われ、8人の議員が執行部の考えをたどしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲久手小学校全児童による地引網(久手海岸にて)

新大田市立病院建設事業の 基本協定締結に至るまでの経過を詳細に

14項目に及ぶ多面的な評価項目を設定し、
審査を行った



大西 修 議員

質問

昨年12月、大田市立病院特別委員会でプロポーザル審査結果の報告があった。この中で詳しい採点表の内訳が開示されなかったため、市内業者が情報公開請求をし、資料が提示された。

そこで見積書が提出されてから、どのような評価で基本協定締結に至ったのか、また最優秀者の金額と契約目標金額とは相当な開きがあったが、どのような協議があったのか伺う。

答弁

審査委員会においては、参加表明のあった2社に対し2回のプレゼンテーション及びヒアリングを実施した。各委員の専

門的見地からのさまざまな質疑を行うとともに、各社から提案のあった内容について審議を行った。採点の結果、最優秀者に大成建設株式会社中国支店が選定された。

選定後、11月29日に発注者、設計者及び施工予定者の三者により、契約目標金額を税別85億8,000万円とする実施設計完成のための基本協定を締結し、現在、実施設計協議を進めているところである。

なお、参加事業者から提出された見積額については、評価項目の一つとして提出された資料である。

見積額の評価点は、次点者が最優秀者を2・1点上回っており、14項目に基づく総合的な評価の結果、合計点としては最優秀者が66・61点、次点者が62・78点となった。



▲新大田市立病院完成予想図

議会に対する詳細な説明を求む

より一層適切な資料提供や丁寧な説明に心がける



河村 賢治 議員

説明に心がける

最善の努力を行うことが責務である。このたび、いくつかの事案で説明が不十分であるとご指摘をいただいた。改めて、ご指摘されたことについて、これを真摯に受けとめ、今後より一層適切な資料提供や丁寧な説明に心がける必要があると再認識している。

質問 邑智郡と共同で行う次期可燃物処理施設建設費について、市の説明より新聞報道や、邑智郡の議員への説明が約20億円多く約63億円である。

大田市立病院建設のプロポーザルでは、大成建設の見積額より選ばれなかったB社の見積額が、大幅に低い金額であったことが最近分かった。

答弁

しっかりとした議会説明や情報開示が行われていない。なぜか。議会と執行部は、市政運営を行う上で車の両輪の関係にあり、互いの立場を尊重し、常に建設的な議論を交わし、市政発展のために

十分でなかった点などを再整理し、必要な資料等諸般の準備を進めている。これが整い次第、議会とも相談の上、当該委員会等において再度説明する考えである。



▶全員協議会の様子

第7期大田市介護保険事業計画への影響等を問う

介護と医療の連携は重要であり、利用者や被保険者の負担にならないよう検討していく



清水 勝 議員

答弁

①介護保険制度の持続可能性を高める観点から、利用者負担割合について見直しを図っていく。また、第1号保険料についても、できるだけ被保険者の負担増にならないよう努力する中で今後進めていく。②新病院の機能は慢性期病棟（介護医療院）は設置しないと、地域医療構想に明記している。

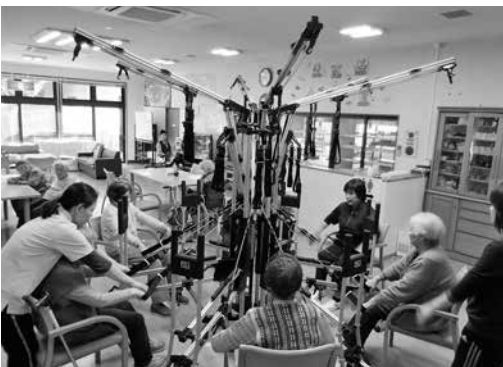
他の医療施設等で受け入れが困難な患者さんは、地域包括ケア病棟などで受け入れをする。

介護と医療の連携は重要であり、介護療養型医療施設については、今後の方向性の検討、協議する。

質問

介護保険関連法の改正による、大田市の第7期介護保険事業計画の策定が急がれる。①高所得者の利用者負担の3割化、第2号保険料への総報酬制の導入、第1号保険料のアップにより、利用抑制、介護離職者を招かないように、善処された次期計画を伺う。

②介護療養病床の廃止が今年度より6年延長された。市立病院は昨年9月に廃止したが、拙速な対応でなかったか。2025年対応、入所待機者、特列入所者等を考え、介護・医療の連携を強めて対応されたい。



▶デイサービスでリハビリをしている様子（仁摩町むつみ苑）

駅通り商店街の取り組みと今後の対策は

中心市街地活性化基本計画の策定過程で検討する



福田 佳代子 議員

店舗の誘致に向け、精力的に取り組み
れてきたところではあるが、結果とし
て誘致実現までには至っていない。

現在、市においては、旧駅前共同店
舗の跡地利用も含め、大田市駅周辺の
再生に向けた新たなまちづくりを念
頭に、国から財政的な支援が受けられ
る中心市街地活性化基本計画の策定
に向け、大田商工会議所等と連携を図
りながら作業を進めているところで
ある。

質問 平成27年5月にパルが自
己破産して、2年余が経過
した。この間地元をはじめ、商工会
議所など関係者の皆さんがいろい
ろと努力されていると聞いている
が、変化がないままである。駅通り
商店街は、シャッター通りである。
駅前には、市の顔であるとともに、何
よりも住人が安心して暮らせるよ
うにすべきである。一日も早い対策
が求められる。この間の取り組みと
今後の対策を伺う。

答弁 昨年5月に大田商工会議
所等が中心になり、中心市街
地活性化協議会の準備会を立ち上げ、
協議を行っている。また、新たな小売



▲廃業したパル

保育施設、学校トイレの改善を

洋式トイレの整備を進めていく



石田 洋治 議員

57基で、全体の51%である。また、幼稚
園、小中学校のトイレの便器数は、合
計704基あり、そのうち洋式便器は
194基で、全体の27.5%である。
公立保育園で洋式便器が未設置の6
つの施設については、各施設における
改修の優先順位に従って整備を進め
る。洋式トイレの普及が進む中で、生
活環境に合わせた整備が必要と考え
ている。

質問 昨年度文科科学省の調査に
よると、全国の公立小中学
校にあるトイレの便器は約140
万基で、洋式化率は43.3%にとど
まる。自宅の洋式トイレで育った世
代が学校の和式トイレに戸惑い、学
業への影響や便秘などの健康面の
心配など、洋式化が求められている。
以下2点について伺う。
①市内保育園・幼稚園、学校施設の
実態調査、今後の整備計画。
②シャワールームなどのトイレ関
連の施設整備。



▲サンチャイルド長久さわらび園の洋式便器

答弁 ①市内19カ所の保育園の園
児用トイレの便器数は、合計
で112基あり、そのうち洋式便器は

②シャワー整備については、今年度中
に公立・私立の全ての保育園におい
て整備が完了する予定となっている。
なお、幼児用のシャワーユニットであ
るシャワーパンについても、整備を進
めている。

防災ハザードマップの活用の現状を問う

地域での研修会に出向き、啓発、周知に努めている



森山 明弘 議員

レッドゾーン区域での住民説明会を開催する予定である。

②高齢者、障がい者施設、保育園などの社会福祉施設や、入院施設のある医療施設、幼稚園が対象で、市内には105施設がある。

マップには浸水害や土砂災害の想定区域内にある施設には、特に注意を促すためにマーク表示している。

③冬季の積雪、道路事情を考慮し、平成26年から池田小体育館、平成27年から北三瓶小体育館に備蓄している。市内の備蓄状況は、食料・水で100%、毛布で30%である。昨年より幼児の食料、車椅子用簡易トイレのテナントの備蓄を始めており、今後も災害弱者の物資の充実に努めていく。

質問

大田市地域防災計画について、次の3点を伺う。

①昨年3月に配布された防災ハザードマップについて、どのように各地区への周知を図ってきたのか。

②防災ハザードマップに表示がある災害時要配慮者施設の定義。

③備蓄物資の保管を地域内で行う施設がなかった三瓶ブロックの現在の備蓄体制。

答弁

①土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)を反映した防災マップを平成28年3月に全戸配布し、地域での研修会に出向き啓発、周知に努めている。今年度は併せて



▶大田市防災ハザードマップ

働き方改革と

ワークライフバランスの取り組みは

働きやすい環境づくりの実現に向けて 取り組んでいく



三浦 靖 議員

ると認識している。

国において、「働き方改革実現会議」を開催し、「長時間労働の是正や「柔軟な働き方がしやすい環境整備などを盛り込んだ「働き方改革実行計画」を本年3月にまとめられた。また6月には、国の「労働政策審議会」が、残業時間の上限規制を盛り込んだ労働基準法等の改正を「適当」とする報告を厚生労働大臣に提出。今秋の臨時国会に改正案が提出される。

政府は、1億総活躍社会の実現に向けて、働く人の立場・視点にたつて「働き方改革」を進め、日本経済の成長と労働力不足の解消、多様な価値観をもって豊かで幸せな人生を送ることを目指し、政労使一体となってワークライフバランスの改善に取り組んでいる。地方自治体としての対応方を伺う。

質問

政府は、「働き方改革」を実現する上で、「ワークライフバランスの推進」は、市の重要施策にも位置付け「健康まちづくり」の考え方やまち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け等から、市として、重要な課題であ

えながら、働き方改革実行計画の実現に向け、関係機関と連携し、事業者に周知を図り、働きやすい環境づくりの実現に向けて取り組んでいく。



▶市役所

多様で豊かな体験による 確かな学力の育成を

長期宿泊体験活動を目指していく



森山 幸太 議員

質問 多様で豊かな体験による確かな学力について、学力だけではなく、体験に基づいた総合的な学力を育成することが重要と考えるが、体験活動の拡大を図る考えはないか伺う。

また、教育魅力化の中で、地元を生徒が市内の県立高等学校に進学してもらうように、中学生が通う公営学習塾の設置を提案するが、所見を伺う。

答弁

体験活動は、課題解決に必要を身につけ、共同して学ぶ力や人間関係を築く力を育む上で、より教育的効果があると考えられている。

小学校での3泊4日以上の長期宿泊体験活動を目指して進めていきたいと考えている。具体的には、従来1泊2日が主流となっていた実施期間を、まずは、2泊3日とする。カリキュラムづくりについては、国立三瓶青少年交流の家、三瓶自然館サヒメルや山村留学センターとともに協議をしている。

公営学習塾については、貴重な提言として受けとめ、大田市内県立高等学校支援連携協議会の枠組みの中で、両校並びに地域の皆様方とともに検討を進めていく。



▲体験学習による三瓶登山の様子

近畿大田市人会総会開催される



内藤芳秀議長 祝辞

6月24日(土)、ホテル大阪ベイタワー(大阪市)において、関西にお住まいの大田市出身者が集う、近畿大田市人会集いの会」が開催されました。215人余の皆様が参加され、盛大な催しとなりました。

ふるさと大田市からは、竹腰市長、市議会議長をはじめ、商工会議所、観光協会など各種団体の代表が参加しました。



総会では、29年度新会長に、大代町出身の田中公道氏が就任されました。田中氏は80歳にして現役のオペラ歌手であり、大田市においてモリサイタルが行われております。
アトラクションでは、毎年、市内の神楽社中が招待され、演目を披露します。今年は、土江子供神楽団が、大蛇など二演目を披露し、会場にお集まりの皆さんを楽しませてくれました。その他、大田市の物産展も開催され、懐かしい地元物産を買い求める皆さんで賑わっていました。

行財政改革特別委員長
中間報告

市民への周知期間を
十分とりスタートを



松村 信之 委員長

5月30日に第8回委員会を開催。協議内容は「大田市使用料及び手数料の見直しに関する基本方針」についてである。執行部より説明を受けた後、委員から出された主な意見とそれに対する執行部の回答は、次のとおりである。

問 今まではいろいろな観点で使用料及び手数料について設定されていたのか。

答 使用料等については、市町合併時に一部を除いて旧市町の料金をそのま

問 施設の使用料と利用率、トータルバランスはどのくらいなのか。

使用料を上げることで利用されなくなり、市民へのサービス低下に繋がるのではないかと。

答 今回の見直しは、値上げ前提ではなく、これまでに算定の基礎が不明確、施設間での料金格差、未徴収施設があるなど、市民にとって公平・公正でわかりやすいものとなっていないため、適正な使用料を算定するものである。

併せて、1時間当たりの単価とすること、これまでよりは、利用しやすくなることも考えられる。

問 公共的な施設を建設するのは、住民福祉の増進に寄与することが目的の一つであるので、施設の減価償却的な費用は使用料及び手数料に組み入れるべきではないのか。

答 今回の見直しでは、積算基準として原価算定方式を新たに導入し、その中では、建物の減価償却費を算入している。これは、建物については、年数の経過により資産価値が減少し、また、世代間の負担の公平性の観点から減価償却費を算入しているものである。

問 現在、策定を進めている公共施設総合管理計画と、どう整合性をとるのか。

答 今年度中に総合管理計画を策定予定であるので、しっかりと整合性を図ってきたい。

問 設定料金については、新旧の料金比較表がわかりづらい。使用料及び手数料は住民からすれば高くなると思うが、上げなくてはならない理由はどこにあるのか。

また、市民が利用する場合や企業が利用する場合の設定基準・設定根拠はどうか。

答 あくまでも今回の見直し方針は、値上げを前提とするものではなく、適切な使用料の根拠を用いることで、公平公正な使用料金を算定するものである。

また、目的外利用や営利目的においては、適切な料金を徴収することについて。

問 十分議論する中で詰めた結果、市民のみならずにも周知期間を十分とり、スタートするべきだ。

答 方針に基づいて算出した新料金については、今回、新たに減免基準を統一している。併せて、施設の利用者団体や利用者への十分な説明をする中で理解を深めていきたい。

▼昨年の事務事業評価の様子



議会運営委員会研修報告 ～議会運営の理論と実務を学びました

5月16日(火)京都市において開催された、廣瀬和彦氏(地方議会総合研修所代表)が講師を務める「地方議員セミナー」議会運営の理論と実務」に、議会運営委員会の委員7名と、正副議長の計9名で参加しました。

地方議員は、住民の負託を受けた議員であり、資質向上と政策立案に資するため、最適な研修内容と考え受講しました。

研修内容は、以下の10項目でした。

- ① 議会事務局職員として議員に対する心構え
- ② 本会議運営の理論と実務
- ③ 委員会の運営の理論と実務
- ④ 協議会
- ⑤ 公聴会・参考人
- ⑥ 再議
- ⑦ 専決処分
- ⑧ 長に対する不信任決議
- ⑨ 意見書・請願・陳情
- ⑩ 懲罰・資格決定

全国の市議会を調査された事例を参考に説明され、また、条例に即し、示唆に富んだ講座でした。

今回のセミナーは早朝から夕方までの長時間でしたが、真摯な姿勢で熱心に受講しました。今後の議会運営に寄与することを念じ報告とします。



石見銀山遺跡世界遺産登録記念日給食にかける学校訪問

～総務教育委員会が静間小学校へ～

7月3日(月)石見銀山遺跡世界遺産登録記念日給食にかける学校訪問で、総務教育委員会の委員6名が静間小学校を訪問しました。今年度で10回目を迎えます。

静間小学校は、一クラスが10名程度であり、全校生徒は69名です。

ゆったりとした空間の中、少人数ならではの個々の児童に目の行き届く授業が展開されました。

また、図書室は、児童が学習したり、本を選んだりしやすいよう工夫を凝らした整備がされています。



「大田市のみりよく発掘」と題された、世界遺産登録10周年記念献立給食には、採掘作業の明かりに利用されたサザエ、別名でじゅうねんと呼ばれるえごまなど、地元食材がふんだんに使われていました。

1、2年生は各学級で、3年生以上はランチルームで、大田市の歴史を感じながら、楽しく味わいました。



▲ランチルームでの給食

議会報告会を開催しました!

大田市議会では今年度も、5月20日(土)に市内7カ所で議会報告会を開催しました。報告会では、3月市議会定例会での当初予算や「道の駅」「新病院建設」等について報告し、お出かけいただいた市民のみなさんからたくさんのご意見をいただきました。本号では、その概要をお知らせします。

ブロック	開催時間	開催場所	参加者数
中央ブロック	13:30~15:10	川合まちづくりセンター	6人
東部ブロック	18:00~19:40	富山まちづくりセンター	13人
西部ブロック	18:00~20:15	長久まちづくりセンター	14人
三瓶ブロック	18:00~19:45	北三瓶まちづくりセンター	8人
高山ブロック	13:30~15:20	大森まちづくりセンター	9人
温泉津ブロック	13:30~15:15	湯里まちづくりセンター	17人
仁摩ブロック	13:30~14:45	宅野まちづくりセンター	4人
計			71人

1. 実施状況



▶北三瓶まちづくりセンターの様子

《年代別》		《性別》		回答者の内訳
未記入	代	女性	男性	
80	70	1	10	11人
60	50	5	5	10人
40	30	13	2	15人
20	10	6	4	10人
1	2	1	2	3人
5	2	1	2	7人
13	6	1	2	11人
32	4	1	2	15人
6	2	1	2	9人
4	2	1	2	7人
2	2	1	2	5人

2. アンケート結果

議会傍聴 2人
 議会だより 53人
 ケーブルテレビ 26人
 ホームページ 4人
 その他 0人

■報告会への参加のきっかけは?
 (複数回答)

議会傍聴 2人
 議会だより 53人
 ケーブルテレビ 26人
 ホームページ 4人
 その他 0人

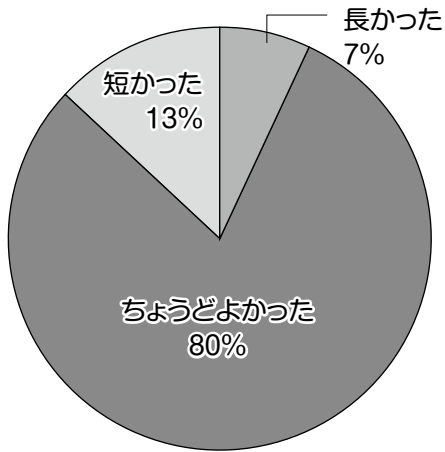
■市議会の情報をどんな手段で得ていますか?
 (複数回答)

見る 20人
 見ない 28人
 その他 4人

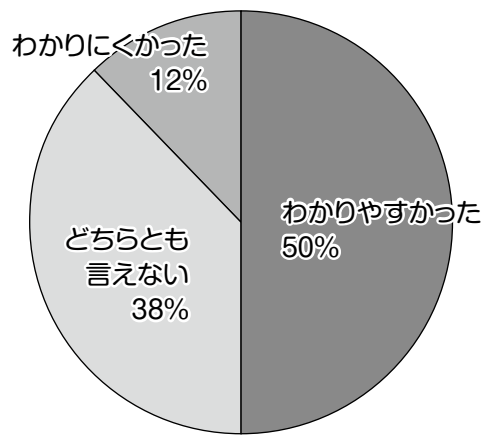
■議会の中継録画を議会のホームページに掲載した場合、ご覧になれますか。

ある 48人
 ない 15人
 その他 0人

◆銀山テレビの議会中継をご覧になられたことがありますか。

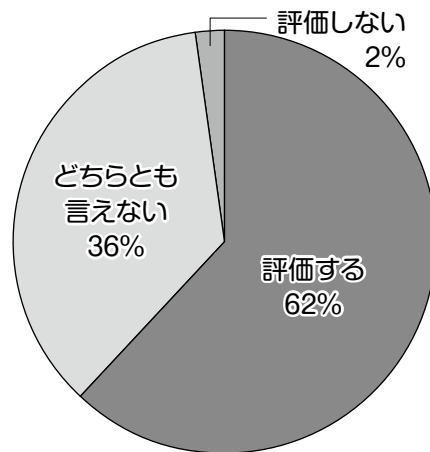


◆報告会の時間は適切でしたか？



◆報告会の内容はわかりやすかったですか？

▼湯里まちづくりセンターの様子



◆報告会の評価は適切ですか？

3. 主な質疑・意見

◆消防・救急

・緊急自動車が入れない道路の対応をお願いしたい。

◆支所のあり方

・温泉津・仁摩西支所の組織見直しは、来年度を目途に、今年度、地域と行政が協議・話し合いを進めながら、方向性を選択していくという意味合いであったはず。住民の理解が得られなければ動かないと思うのに、縮小の方向に進んでいる。温泉津・仁摩の住民の理解は得られたのか？

また、組織見直しに伴い職員数が減となると、町内4ヶ所のまちづくりセンターにいろいろな形のしわ寄せが来るのが考えられ、ただでさえ忙しいまちづくりセンター職員は対応できなくなる。

◆地域交通

・安来市は地域に車を一台貸している。軽ワゴン車の配車が可能であれば、病院や買い物支援に利用できる。

◆空き校舎の活用

・旧富山小学校を利活用してほしい。これまで市には何度も要望してきた。旧井田小学校は利活用されている。空き校舎利活用は先進事例が県内にもあるので、参考にしてほしい。

◆道の駅

・「仁摩道の駅」を整備して、「ロード銀山」との両立はできるのか。ロード銀山は利用者が減少して立ち行かなくなる心配があり、新たな道の駅は、観光客入込数が毎年減少している中で利用者が伸びないのではないか。また、農作物の出荷等、経営的に大丈夫か。



▲富山まちづくりセンターの様子

◆雇用の場の確保

- ・新大田市が発足してから12年で5965人の人口が減少している。
- ・長久町と静間町、五十猛町の人口に匹敵する。歯止めをかけるためには、リターナー者の取り込みは重要であるが、若者の働く場所の確保が喫緊の課題であり、その施策を求める。

◆神楽の活用

- ・高校を卒業して地元で就職した36名の内、14名は神楽を続けたいとの理由からであった。この石見神楽を大田市でもっと活用することができないか？



▲石見神楽

◆三瓶山の活用

- ・三瓶山の観光施設について、直接お客を呼び込むことをしてほしい。
- ・三瓶登山や温泉を活用し、観光客が魅力を感じるような策を考えてほしい。

◆世界遺産登録記念イベント

- ・今回は、地元大森への情報提供が遅かった。今後の15周年に向けては、大森地区に予算をつけるべきである。また、地元の声をしっかりと聴いて予算化などしてほしい。

◆都市計画税

- ・都市計画税の使われ方はどのようになっているか。自治会の人から聞かれて答えることができず、教えていただきたい。また、当初の目的は。

- ・高禅寺自治会内の側溝の整備状況が悪く、図面を作り整備を要請したが予算がないと断わられている。水が溜まりボウフラが湧くので、自治会では、年5回も溝掃除している。都市計画税をこのような側溝整備に充ててもらいたい。

◆介護保険(新しい総合事業)

- ・通いの場づくりについて、利用者が多く、まちづくりセンターが手狭になっている。
- ・一般市民の利用に支障がでるなら、まちづくりセンターの増築等拡充してほしい。



▲川合まちづくりセンターの通いの場

◆新大田市立病院

- ・市立病院の建設について、医療費削減でベッド数を減らされているが、病院から退院しても介護施設など行くところがないのでは困る。
- ・これ以上、縮小しないほしい。
- ・また、建設の遅れないようにしてほしい。

- ・外科系医療の確保はどうするか。例えば、都会の総合病院のような医療ヒル的な施設はどうか。

- ・介護病棟を廃止した。包括ケアにどう充実してほしい。

◆教育

- ・西中グラウンドが狭く、広げてもらいたい。子どもことなので、早く対処していただきたい。

- ・湯里西垣内地区は小学生が2名であるが、3年後には6名になる予定。市道の幅員が狭く、スクールバスの利用ができない。スクールバスの運行をしていただきたい。
- ・山村留学センター卒業生が県内高校に進学している。また就職もしている。もっと盛り上げてほしい。

しまねおおだ・海・山・川に飛び込む大冒険

8月7日~8月11日

小3~中3対象 5日間
海キャンコース

2017夏の山村留学

小1~小6対象 5日間
自然体験コース

貴重なご意見ありがとうございました。
ご意見、ご要望に対する回答は、次号発行の本誌にて掲載予定です。



◇6月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名等	議員名等	議決結果	賛 成	反 対 等																					
					木村 幸司	森山 幸太	胡摩 田弘孝	森山 明弘	小川 和也	三浦 靖	石田 洋治	松村 信之	小林 太	松葉 昌修	河村 賢治	林 茂樹	大西 修	月森 和弘	塩谷 裕志	有光 孝次	福田 佳代子	石橋 秀利	清水 秀	内藤 芳秀	
■市長提出議案																									
議案第360号	専決処分(平成28年度大田市一般会計補正予算(第8号))の承認について	承認	19 : 0																						
議案第361号	専決処分(平成29年度大田市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号))の承認について	承認	19 : 0																						
議案第362号	専決処分(大田市税条例の一部を改正する条例制定)の承認について	承認	19 : 0																						
議案第363号	専決処分(大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定)の承認について	承認	19 : 0																						
議案第364号	専決処分(大田市都市計画税条例の一部を改正する条例制定)の承認について	承認	19 : 0																						
議案第365号	専決処分(大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定)の承認について	承認	17 : 2																						
議案第366号	平成29年度大田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	19 : 0																						
議案第367号	平成29年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17 : 2																						
議案第368号	平成29年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17 : 2																						
議案第369号	大田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について	原案可決	17 : 2																						
■議員提出議案																									
議案第370号	[共謀罪]と同趣旨の「改正組織犯罪処罰法」の迅速な法施行を行わないこと を求める決議について	原案否決	8 : 11																						
意第15号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	19 : 0																						
意第16号	森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書の提出について	原案可決	17 : 2																						
■請願																									
請願第3号	年金の毎月支給を求める意見書採択方について	不採択	5 : 14																						
請願第4号	森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書提出方について	採択	17 : 2																						
請願第5号	北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める意見書提出方について	継続審査			議会閉会中の継続審査(総務教育委員会付託)																				

※定数20名、うち議長(内藤芳秀)は採決に加わりません ※○は賛成 ●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

えっ!! そんな一面が!!

総務教育委員の皆さんの意外な一面

どうしても近寄りがたいと思われがちな議員……。
「そんなことはないのにな。」「気軽に話しかけてもらって大丈夫なのに。」と思っています。
と、いう訳で、今回から3回にわたり、各常任委員会ごとに皆さんの知られざる!?
(ご存知の方もおられるかもしれませんが)議員の一面をご紹介します。



三浦 靖 議員



実は……お酒を飲まないんです。飲み会でも、もっぱら「コーラ」を飲んでいます。テンションも人並み以上(笑)。ハンドルキーパーはおまかせ下さい。

松村 信之 議員



野球少年でした。そして!スポ少のコーチも20年間つとめました。野球を語らせたら、熱いですよ～。今は、野球観戦を楽しんでいます。

石橋 秀利 議員



子どもが大好きです。我が子は4人、孫も2人います。子どもの笑顔に癒され、童心に心を洗われ、元気な姿に力をもらっています。

有光 孝次 議員



いつもスーツ姿だと思われがちですが……。田んぼをかかえていて、どろまみれになって、農業もやっています!

内藤 芳秀 議員



花に癒され、花の魅力に引き込まれています。花も愛情をもって育てれば育てるほど美しい花を咲かせます。花をみていると無心になり、気持ち切り換えることができます。

河村 賢治 議員



集落の皆さんとえごま油づくりはじめ、今年が3年目になります。体に良いえごま油を、毎日スプーン一杯程度摂取しています。意外にも、健康志向なんです。(笑)

胡摩田 弘孝 議員



農業大好き、動くの大好き……。寝る時間なんてもったいない!の私ですが……。にんじんとしいたけが苦手なんです。生産者の方ごめんなさい。

議会傍聴のご案内

次の定例会は**9月1日～27日**の予定です。市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

- 委員 木村 幸司
副委員長 塩谷 裕志
委員 月森 和弘
委員 大西 信之
委員 松村 洋治
委員 石田 明弘
委員 森田 幸太
委員 胡摩田 幸太
委員 森山 幸太

広報広聴委員会

日本三大鳴き砂といわれている琴ヶ浜が国の天然記念物に指定されることが決まると、大田市教育委員会をはじめ、地元の方々の海岸清掃など、日頃の努力が実ったものとお祝い申し上げたい。私達が住む大田市には、琴ヶ浜のほか、国立公園三瓶山、世界遺産の石見銀山、温泉津温泉と地域資源が多くあるが、この誇るべき資源を有効に活用した観光振興を進めたい。近年、インバウンドで海外からの観光客が自然豊かな日本の地方を訪れる傾向にある。大田市の自然をしっかりとPR、情報発信しながら、集客につながるよう努めていきたい。(石田 洋治)

編集後記